

◎神社検定(神道文化検定) <http://www.jinjakentei.jp/>

神社検定は、2012年度(平成24年度)からスタートしました。
24年度の第1回検定は第3級のみでの試験で、25年度が第2級、第3級となり、26年度は第1級が開始される予定です。

元来、日本の宗教は神道(しんとう)でしたが、仏教伝来により二つの宗教が交じり合い(神仏習合)お互いの立場から研鑽を進めてきました。

この状態は、江戸時代末期まで実施されてきましたが、明治政府の神仏判然(神道と仏教の分離)の命令が出され、現在にいたっています。

神仏習合の例としては、京都にあります有名なお寺の境内には神社があります。

清水寺の中にある縁結びの神様で、女性に人気がある地主神社もそうです。

また、宮寺、神宮寺、神願寺、神護寺等の地名も同様です。

明治政府の神仏判然により神社と寺院に分離しましたが、神社の近隣には必ずと言っていいほど寺院があります。

また、分離しない場合は、神社か寺院かのいずれかでの存続を余儀なくされました。

京都男山にあります石清水八幡宮は、神仏判然以前まで僧侶による運営が中心で、石清水八幡宮寺と呼ばれていました。

社殿は、見事な朱色で施されていますが、朱色を取り除けば立派な寺院になります。

現在でも、仏教色の濃い神事が執り行われています。

神道を知るためには、仏教を知ることを欠かすことはできません。

最澄による天台宗、比叡山延暦寺と山王総本宮日吉大社との習合、空海による真言宗、両宗の密教(天台宗:台密、真言宗:東密)による曼荼羅(胎蔵界、金剛界)、法然:浄土宗、親鸞:浄土真宗、一遍:時宗、日蓮:日蓮宗(法華宗)、栄西:臨濟宗、道元:曹洞宗など歴史で習った面々が出てきます。

鎌倉時代初期までに完成した【中臣祓訓解】は、園城寺(三井寺)、天台宗時門派の僧侶により作成されました。

このほかに、仏教側からの神道である天台宗系:山王神道、真言宗系:両部神道、日蓮宗:法華神道(三十番神信仰)などの仏家神道も成立していきました。

修験道(吉野金峰山、熊野三山、出羽三山、戸隠山、英彦山)、安部清明で有名な陰陽道などの影響も受けています。

趣味の一つとして、神社仏閣参拝(御朱印受領)を行うことも多いと思います。

神社仏閣の歴史を紐解く一つとして参考にされてはいかがでしょうか。

【テキスト】:2012~2013年度

☆第3級:神社のいろは(神社いろは、作法、各神社の由来、祭り、神棚、伊勢、皇室等)

☆第3級:神社のおへそ(古事記概略、神話の里を訪ねる)

☆第2級:続神社のいろは(神社やお祭りの歴史、各神社の由来)

☆第2級:遷宮のつぼ(神宮式年遷宮、出雲大社・賀茂社、石清水八幡宮、熱田神宮の遷宮等)



・第3級:2012.6.3

・第2級:2013.6.2